

1. 日時 : 令和6年10月31日 (木) 17:50 ~ 18:50
2. 場所 : 特別会議室(管理棟3階)
3. 出席者 : 古宮委員長、村上委員(web参加)、並川委員、藤田委員、清水委員(web参加)、常風委員、稲田委員(web参加)、金子委員(web参加)、中原委員、坂口委員、池澤委員、松浦委員(web参加)
4. 陪席者 : 総務企画課 研究推進室 早尻、森田、山本
5. 議事 : 臨床研究等利益相反マネジメント委員会に諮った申請において、COIに問題が無いことが確認された。

新規申請

(1) 音楽療法介入が自閉スペクトラム症児の注意機能にもたらす影響

(2024-073)

研究責任者: 神経精神科学 客員助教 上羽 由香

研究責任者の神経精神科学 客員助教 上羽 由香から、関係資料に基づき、申請課題について説明が行われ、質疑・応答の後、審議の結果、承認となった。

(2) 深層振動(Deep Micro Vibrotactile : DMV)がストレスに及ぼす影響

(2024-078)

研究責任者: 総合人間自然科学 大学院生 飯島 寛子

研究分担者の総合人間自然科学 大学院生 飯島 寛子から、関係資料に基づき、申請課題について説明が行われ、質疑・応答の後、審議の結果、別紙のとおり指摘があり、継続審査となった。

迅速申請

(1) 新規再生医療の開発と応用に向けたヒト臍帯血細胞の機能解析

(27-52)

研究者: 産科婦人科学 教授 前田 長正

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(2) アレルギー疾患・アレルゲン感作と腸内細菌叢の関連に関する研究
子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)追加調査として

(27-132)

研究者: 小児思春期医学 学内講師 大石 拓

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(3) 臍帯および卵膜に存在する幹細胞の新規単離法開発とその幹細胞の機能解析

(29-54)

研究者: 産科婦人科学 教授 前田 長正

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(4) ジェノゲスト(以下DNG)の子宮内膜症患者における腹腔内免疫細胞機能への影響

(30-124)

研究者: 産科婦人科学 教授 前田 長正

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(5) 心エコー検査と心臓カテーテル検査に関する研究

(31-113)

研究者: 老年病・循環器内科学 教授 北岡 裕章

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(6) HPVワクチンと子宮頸がんに関する意識調査—キャッチアップ世代—

(2022-99)

研究者: 臨床感染症学 教授 山岸 由佳

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(7) ネコひっかき病の視野異常について

(2023-18)

研究者: 眼科学 医員 溝淵 朋佳

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(8) 未治療日本人転移性腎細胞がん患者を対象としたカボザンチニブ・ニボルマブ併用療法の有効性と安全性に関する前向き観察研究

(2023-43)

研究者: 泌尿器科学 准教授 辛島 尚

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(9) Catalytide による脳内 α シヌクレイン分解作用の検証

(2023-60)

研究者: 薬理学 特任教授 秋澤 俊史

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(10) 接触式レーザー前立腺蒸散術(Contact laser Vaporization of Prostate:GVP)の初期経験

(2023-92)

研究者: 骨盤機能センター 講師 清水 信貴

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(11) 造血器疾患の分子病態解明と新規分子標的治療開発を目指した基盤研究

(2023-94)

研究者: 血液内科学 教授 小島 研介

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(12) 医師の性格特性と患者評価の共同意思決定との関連

(2024-69)

研究者: 臨床疫学 大学院生 森下 繁美

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(13) 高齢者を中心としたがん患者における当院での放射線治療成績を検討するための後方視的研究

(2024-71)

研究者: 放射線腫瘍学 教授 木村 智樹

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(14) 地域住民の認知症の人に対する態度と互助の意思との関連について

(2024-70)

研究者: 看護学部門 講師 川村 尚美

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(15) がん診療における高齢者総合機能評価(GA)の有用性を検討する観察研究

(2024-73)

研究者: 腫瘍内科学 助教 栗岡 勇輔

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(16) 当院における小児科と連携した小児炎症性腸疾患診療への取り組みの解析

(2024-75)

研究者: 消化器内科学 助教 沖 裕昌

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(17) コードブルー要請症例におけるCode-Statusの確認率

(2024-76)

研究者: 救急部 教授 宮内 雅人

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

(18) 123I-IMP脳血流におけるPlanar収集カウントを用いたSPECT収集カウント予測の検討

(2024-74)

研究者: 放射線部 診療放射線技師 切詰 力斗

古宮委員長から、関係資料に基づき、迅速審査で承認された申請課題について報告が行われた。

有害事象の発生について

抗うつ薬で効果不十分な大うつ病性障害患者を対象としたVRデジタル治療薬の有効性及び安全性を評価するランダム化比較試験

(1) An 8-week, multicenter, randomized, parallel-group trial to evaluate the efficacy and safety of VR digital therapies in patients with major depressive disorder who are inadequately responding to antidepressants

(2022-130)

研究責任者: 「医療×VR」学 特任教授 松村 雅代

研究責任者の「医療×VR」学 特任教授 松村 雅代から、関係資料に基づき、有害事象の発生について説明が行われ、質疑・応答の後、審議の結果、承認となった。

抗うつ薬で効果不十分な大うつ病性障害患者を対象としたVRデジタル治療薬の有効性及び安全性を評価するランダム化比較試験

(2) An 8-week, multicenter, randomized, parallel-group trial to evaluate the efficacy and safety of VR digital therapies in patients with major depressive disorder who are inadequately responding to antidepressants

(2022-130)

研究責任者: 「医療×VR」学 特任教授 松村 雅代

研究責任者の「医療×VR」学 特任教授 松村 雅代から、関係資料に基づき、有害事象の発生について説明が行われ、質疑・応答の後、審議の結果、承認となった。

不適合報告について

(1) 眼窩吹き抜け骨折の手術適応と手術成績に関する研究

(2021-090)

研究責任者: 耳鼻咽喉科頭頸部外科 小森 正博

古宮委員長から、関係資料に基づき、不適合の発生について説明が行われ、質疑・応答の後、審議の結果、承認となった。

(2) 人工中耳のように使用する軟骨伝導補聴器の効果

(2022-067)

研究責任者: 耳鼻咽喉科頭頸部外科 小森 正博

古宮委員長から、関係資料に基づき、不適合の発生について説明が行われ、質疑・応答の後、審議の結果、承認となった。

報告事項

(1) 事務局にて終了処理を行った研究について

古宮委員長から、関係資料に基づき報告が行われた。